

令和元年度  
金沢大学ステークホルダー協議会  
実施報告書

令和元年7月  
国立大学法人金沢大学

## 概 要

日 時：令和元年7月11日（木） 16:30～19:00

会 場：金沢大学〔金沢市角間町〕

協議会：自然科学大講義棟大講義室 A, 交流会：YABU & CAFÉ 丹

プログラム：

16:30	開会
16:33	挨拶・近況報告
16:50	意見交換
18:15	交流会

出席者数：116名

【内訳】

学外：46名

卒業生5名，高等学校7名，自治体2名，  
企業等14名，地域8名，保護者2名，  
元事務職員4名，報道機関1名，  
国際交流関係3名

学内：60名

学生25名，教職員35名（うち事務スタッフ17名）

学内列席者：10名

## ステークホルダーのご意見

### 事前質問

#### 【教育カテゴリー】

- ①「文系後期一括，理系後期一括」の理念を教えてください。また，入試で合格した生徒は1年間国際基幹教育院総合教育部に所属し，2年次から学類へ移行（面談を行うなどきめ細かい支援により）とあるが，成績は1年次の成績や入学試験結果など，どれをどの程度使うのか教えてください。
- ②高校で探究活動（課題研究）を進める上で課題設定をする際のアドバイスや研究内容が参考になる先生などの情報提供，高校生と理系の留学生との交流の実施に向けて（予算のことも含めて）相談をする窓口はあるか。
- ③金沢大学サイエンスラボや，金沢大学グローバルサイエンスキャンパス等を通じて高校との連携を深めていきたい。
- ④ナノ生命科学研究所関連などの最先端の科学及び医学の実践を高校生へ紹介するプログラムはあるか。また，医者を目指す高校生と医学生（例えばOB）が対話をする場があると，大変参考になると思う。
- ⑤「私たちの金沢大学 2019」の p.5 の「10年後の目標値」について，ほかの項目は2023年の数値が2017年の2倍程度であるのに対して，「英語による授業」（学士課程，大学院課程）の場合は3～5倍と大きくなっているのが少し気になった。具体的にはこのような数値目標を達成するために，どのような取り組みを想定されているのか。
- ⑥入学の基本的な単位を「学域・学類」とすることで，「学部・学科」より幅広く大きな組みで学びをスタートでき，人間社会学域や理工学域では主に2年次に，一人一人が自分の志望や適性に合わせて専門領域を決めるとあるが，学生が希望する専門領域が偏るケースがある場合はどのように対処するのか教えてください。

### 金沢大学の回答

- ①一括入試の理念は「様々な専門分野にまたがって強い興味と関心を持ち，幅広い分野に触れて自らの視野を広げながら主体的に学ぶ熱意があり，かつ，積極的に課題を発見して取り組む意欲のある人を受け入れ育成すること」である。この入試については令和3年度から前期日程で実施することが決定している。  
移行先の学類は本人の希望と移行点対象の1年次の16科目の成績（移行点）により決定している。
- ②高校と大学の橋渡しを担う高大接続コア・センターで，今後，要望や情報を受け，組織的に対応する予定である。
- ③現在，高大接続コア・センターで，高大接続プログラムの開発を進めているので，高校側においては，グローバルサイエンスキャンパス（GSC）をはじめ高大接続プログラムに参加いただき，さらに連携を深めていきたいと思っている。
- ④ナノ生命科学研究所及び医学類については，高校からの要望があれば，個々の教員が高校に向向いて行う講義を行っている。  
一般的には8月8日のキャンパスビジット，8月9日の理工学類体験プログラムをはじめ，理学の広場，医学展，GSCなど各種セミナー，シンポジウム等いろんな機会を提供している。興

味・関心があるものに参加していただければと思う。

- ⑤英語による授業の実施は、教員側の準備や熟達のみならず、学生の高い英語力も必要とする、即効的な対応策のない地道な課題である。そのため、他の英語力課題に比べても達成が困難な課題である。教員の英語力アップを図るとともに、現在策定中の包括的な英語力強化プログラム、fire up program において、学生にも教員にも有益となるような連携支援の仕組みを構築している。これにより、目標数値の達成を目指している。
- ⑥専門領域については、まずは学類の中できめ細かな説明を行うが、それにも拘わらず、あるコースへ配属希望が集中し、コースの受入上限数を超過する場合がある。その場合は、基本的に、配属までの学生の成績によって配属の可否を決定する。残念ながら、それ以外に私たちとしては決定する知恵がないため、お互いに切磋琢磨していただくしかないと考えている。

### 【社会連携カテゴリー】

最近では、人工知能や自動走行技術、様々な先端技術をまちづくりへ活用する試みも増えており、先端技術を市民生活の利便性向上等へつなげていくには、大学の持つ専門的知見やノウハウが重要となる。今後も、総合大学としての強みや特徴を活かした地域志向の教育・研究を推進していただくとともに、多様化する地域課題解決やまちづくりに向けて、引き続き連携した取り組みにご協力を賜りたい。

### 金沢大学の回答

本学では、県内自治体や高等教育機関等と連携して実施する「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」や、県内外 15 の自治体と締結している連携協定の枠組みなどを通して、地域との連携事業に取り組んできた。これらの取組みの実績や連携の枠組みを活かして、引き続き地域志向の教育や研究活動を引き続き推進していく所存である。

また、最近の新たな対応としては、本年 2 月に、地域社会との連携・課題解決を担当していた「地域連携推進センター」と研究推進及び産学連携・知的財産管理を担当していた「先端科学・イノベーション推進機構」を統合して「先端科学・社会共創推進機構」を設置し、様々な研究の成果による地域課題解決を推進する体制を整えた。

当機構を中心に多様化する地域課題解決や地方創生に向けた事業を創出・実施していく。

### 【国際カテゴリー】

- ①大学で留学希望を考えている生徒に対して金沢大学の留学プログラムを紹介する際の特徴（他の大学と比較できるものも含めて）を教えてください。
- ②SGU 事業の数値目標を上げるためにどのような方策を考えているのか。例えば、短期留学含め必須とするのか。大学独自の交換留学制度の充実を図るなど。

### 金沢大学の回答

- ①学生の多様なニーズや準備状況にあわせて、段階的かつ体系的に留学プログラムを多く用意している。

例えば、1・2 年生がまずは日本以外の国に触れるための「ファーストステッププログラム」と呼ぶ 2 週間程度の短期海外留学プログラムを用意している。また、高学年や大学院生を対象としたインターンシップを含む、1 ヶ月程度の各自の専門分野の留学プログラム等を用意している。さらに、大学院生を対象とした本学と海外大学の学位を同時に取得できるダブルディグリー

ー・プログラムなどを様々な分野で多くの大学と実施している。このようなプログラムを通して、学生を海外へ送り出しているところである。

②SGU 事業の数値目標は大学の取組そのものに直結するので、外部資金等の大学の資源を交換留学時の学生サポートの更なる充実のために利用したいと考えている。

短期留学の必須化については、現状では検討していないものの、外国人留学生の増加や授業の英語化、ジョイントクラスの実施等、留学しなくとも本学のキャンパスにしながらグローバルな体験ができるようにしたいと考えている。

なお、現状では、協定のある海外大学等の数は270を超えており、現時点で既にSGU事業の数値目標を達成している。今後はこれら協定校の中から本学の教育・研究の質向上につながり、活発な交流が期待できる協定先を絞り込み、そこに大学の資源を集中していく方向に舵を切っていく。これにより、交換留学や短期派遣プログラムの更なる充実を図っていきたいと考えている。

### 【附属病院カテゴリー】

附属病院が混雑する時間帯は駐車場の入庫待ちの車で大渋滞が発生しており、患者様の受診はもちろんのこと、周辺道路の交通にまで影響を及ぼしているが、宝町キャンパスおよび附属病院の駐車場の不足についてはどのような対策を検討されているか。

### 金沢大学の回答

宝町キャンパスや附属病院に通勤する職員で、通勤距離が3キロ以内であれば自家用車での通勤を自粛する等の対策をとっている。

また、駐車場不足に対応するため、本院では現在第二立体駐車場建設を進めているが、期間中は更に50台分ほど駐車可能台数が減っている状況である。

そのため、病院内の職員用駐車場の一部を暫定的に患者様に振り替えるといった措置に加え、午前に行っている外来診療の一部を午後に行うことにより、患者様の来院時間を分散できるよう対策を立てているが、まだ不十分な面もあり、大変ご迷惑をおかけしていることをお詫び申し上げます。

第二立体駐車場は2021年度完成予定であるため、それまでは渋滞が続く可能性がある。午前の外来診療を午後に移す措置を更に充実させ、患者様の来院時間が集中しないよう対策に努めるので、引き続き皆様方のご協力をお願い申し上げます。

### 【施設カテゴリー】

①現時点で外国人留学生及び、研究員専用の住居は充足しているか。また、第Ⅲ期の宿舍建設計画の状況を教えていただきたい。

②先魁、北溟の近くにコンビニをつくって欲しい。

③この先、深刻な空室問題も近隣アパートオーナーは抱えており、民間アパートの活用も検討して頂きたい。

④教員の方が利用している、涌波・平和町の官舎の老朽化にともない、具体的なビジョンはあるのか。

### 金沢大学の回答

- ①外国人留学生の住居については、「先魁（I）」をはじめとする4つの施設があるが、現在の入居状況は77%である。研究員は職員宿舎を使用しており、職員宿舎の入居状況は67%で、ともに入居率が高くないことから現段階では充足していると考えている。  
また、第Ⅲ期の宿舎建設計画については、既存の学生・留学生宿舎の入居率が目標としている率に達していないため、入居状況等を検証しているところである。
- ②現在、自然研本館玄関内のコンビニ設置に向けて設計を行っている。順調に進めば、来春からの開店に間に合うのではないかと考えている。
- ③学生・留学生宿舎は、国際交流の推進、グローバル人材の育成など教育を目的として整備を開始しているため、今後の計画において参考とさせていただきたい。
- ④涌波・平和町の職員宿舎については、効率的に運営するため、現在、検討を行っているところである。

### 意見交換

#### 卒業生関係

大学病院の無給医（例えば大学院生）について新聞報道があった。金沢大学では、このことについて調査を行ったのか。また、その結果はいかがであったか。

### 金沢大学の回答

本学で調査を実施した結果、公立病院に勤めている身で研修のため附属病院に在籍している等、特別な理由があって無給となっている医師は40名程存在した。  
今後は、契約関係を把握するため、診療届の様式を変更し、所属先の病院長の許可をいただき、どのような目的で附属病院の診療に加わるかについて明確にするよう検討している。  
なお、完全な無給医は学生を含め、該当なしであった。

#### 卒業生関係

- ①金融やデータサイエンスの分野に優れた、エッジの効いた人材育成を期待したい。
- ②人事的な観点から、ベンチャーキャピタルの設立をお願いしたい。

### 金沢大学の回答

- ①②文系・理系を融合した第4の学域の設立を計画している。チャレンジ精神を持った学生を集め、様々なダイバーシティを取り入れた新しい学類を60人規模で立ち上げたいと考えており、議論を進めている。  
取り組むべき社会・人類の課題をもって専門領域を自ら選び、自分で解決する力を身に付けられるような学びに加え、海外での実習や、在学中の起業等も体験させ、様々なタイプの人材育成に取り組むことを検討している。

## 国際関係

今後発展が期待されるインドへのインターンシップや交換留学等に目を向けることが必要だと感じている。また、中国の深圳<sup>シンゼン</sup>はアジアのシリコンバレーになると予想しているが、例えば金沢大学の海外キャンパスを設立することはできないか。

### 金沢大学の回答

中国はチャレンジ精神に溢れ、バイタリティのある研究者や学生を育成するために適した環境だと感じている。

海外キャンパスの実現はすぐには難しいが、チャンスを探いながら検討したいと考えている。教員や学生の研究成果を社会実装する仕組み・環境を整えることは大学の使命であり、そのために色々のご指導いただきたい。

本年6月に本学のシリコンバレーオフィスを開設した。シリコンバレーに学生を派遣しインターンシップを行う予定である。

## 教職員OB

大学の設置基準や規則の改正に伴い、事務職員の能力アップが益々期待されているが、どのような取り組みを実施しているのか。

### 金沢大学の回答

外部資金獲得のため、教員と事務職の中間的な職種であるユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター（URA）を20名程採用しており、将来的には30人態勢を目指している。また、様々な能力アップに繋がる研修を積極的に実施するとともに、採用の際にも英語力を重視している。若手は順調に育っていると理解しているので、将来的な事務職員のサポート体制には大いに期待をしているところである。

## 卒業生関係

- ①THE 世界大学ランキング 日本版調査の「教育リソース・教育充実度・教育成果・国際性」で総合18位は大変喜ばしいことである。特に旧六でトップに立ったことは立派である。教員・職員が一体となって、引き続きご尽力いただきたい。
- ②日本海側の基幹的な大学としては、法科大学院をなくしてほしくない。法曹コースに対する考えも含め、学長の決意を聞かせてほしい。
- ③2003年に金沢大学として46年ぶりとなる日本学士院賞を受賞した教員が、この3月で定年となった。今後、日本学士院賞を受賞した先生が不在となるのはいかがなものか。
- ④今後の金沢大学の発展には、今より増して優秀な学生の確保が必要である。附属高校の進学先をみると地元より県外への進学が目立つ。県外へ向いている目を金沢大学に向けてようにできないものであろうか。
- ⑤金沢大学が総合移転を実施しているとき、その目的達成のため、国・県・金沢市・大学が一丸となって努力してきたが、近年は県・金沢市と大学の連携が薄れていると感じている。地元自治体との接点を増やすためにご尽力いただきたい。
- ⑥以前には日本海域研究所（1967年7月～2007年3月）があったが、現在は、文部科学省共同利用・共同研究拠点として「越境汚染に伴う環境変動に関する国際共同研究拠点」に認定された、環日本海域環境研究センターがある。人間文化研究機構総合地球環境学研

研究所等と連携しているが、日本海側の基幹的な総合大学として、医学系や文系も入った研究機関とできないだろうか。

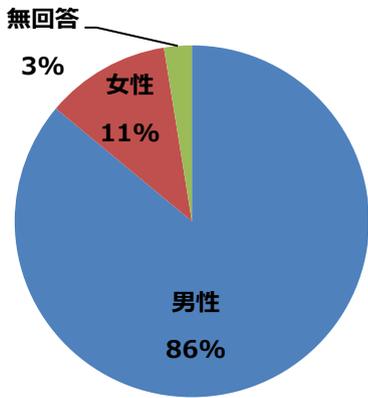
### 金沢大学の回答

- ①この種のランキングの常として、必ずしも各大学の実情を正確に反映したものとは言えないが、今回の結果を参考とし、これ以上の順位が確保できるように努力していく。
- ②本学法学類は優秀な学生を確保できていると考えているが、そこから本学法科大学院への進学につながっていない。地道に成果と評価を上げていくしかないと考えている。法曹コースについては、大学院の改組を行い、新しい法学系研究科で対応できるよう設置準備を進めている。
- ③日本学士院賞には及ばないが、文部科学大臣表彰および日本学術振興会賞の受賞について、特に若手の育成に力を入れている。なかなかすぐに作れる実績ではないが、日本学士院賞の受賞に向けて努力していく。
- ④SGHを引き継ぎ今年度から実施しているWWL等の活動を通して、附属高校からの進学者増を目指していきたいと考えている。
- ⑤自治体等との連携に関しては、石川県、金沢市を含む県内自治体や高等教育機関等と連携し実施している「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」や各自治体との包括連携協定の枠組みを通じた各種連携事業などを行っている。  
これらの連携事業を通して、各機関との担当者間のネットワークができており、引き続き県内自治体との連携事業を推進していく。
- ⑥環日本海域環境研究センターは、現在、所属教員が18名で、能登、辰口、金沢大学と珠洲の方に拠点があるが、全て理工分野にかかるものである。  
他分野を取り入れた総合研究所にするとすれば、今年6月にスタートした設計製造技術研究所のような、地元にも密着し産業を支える組織としたい。いただいたご意見を参考にしながら、構想を膨らませていく。

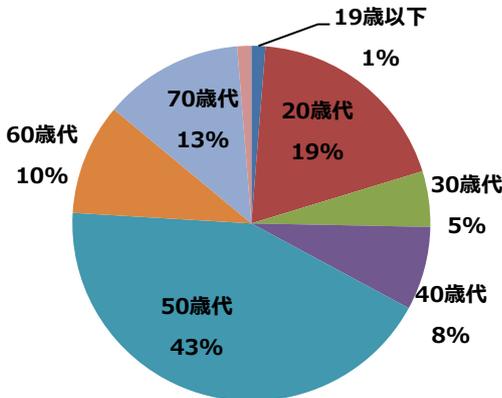
# アンケート結果

回収件数〔回収率〕：79件〔89%〕

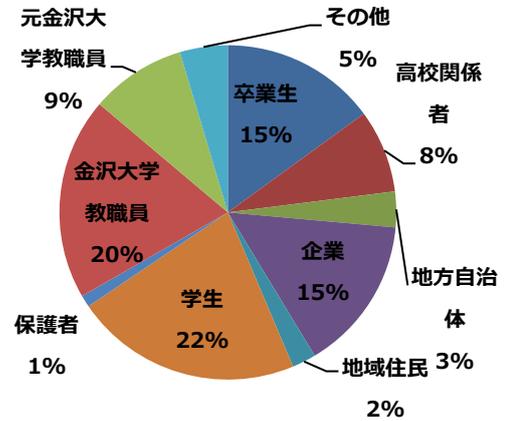
【1】性別



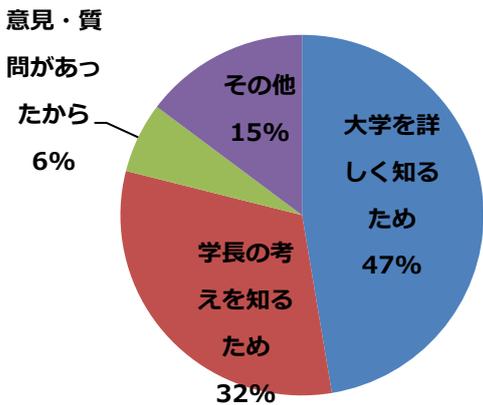
【2】年齢



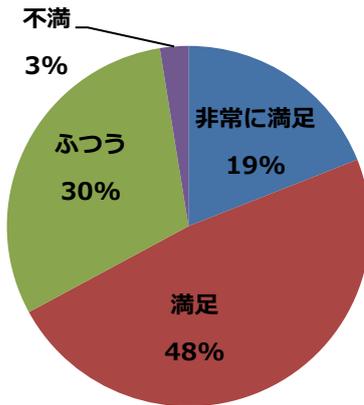
【3】大学との関係区分



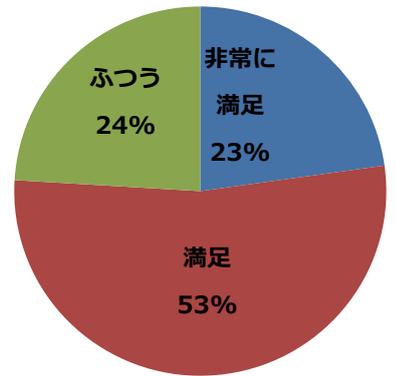
【4】参加目的



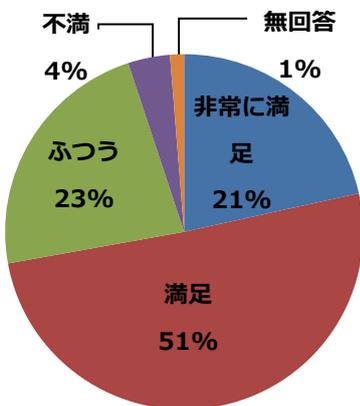
【5】近況報告について



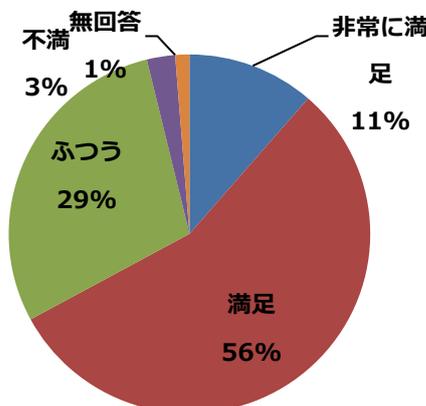
【6】配付資料について



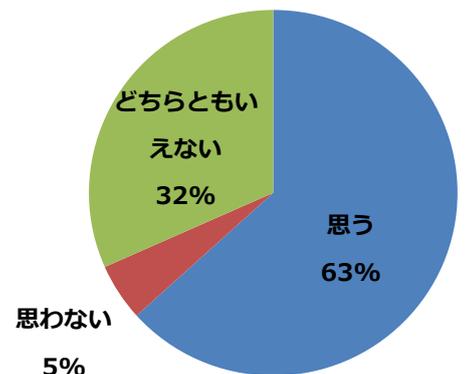
【7】質問への対応について



【8】進行について



【9】次回の参加希望について



## 【10】ステークホルダー協議会についての主な意見

- ・いろいろなステータスの人が集まっている・集めているのは good。意見もバラエティに富み有意義でした。
- ・金沢大学の大学改革状況を知ることができ、有意義でした。今後共、内容の充実を図り、改革を先導的に進めて頂きたいと思います。協議会の継続を望みます。
- ・学長のお話が具体的で大変参考になり、送り出す側として生徒に自信をもって金沢大学を紹介できます。
- ・多面的な意見が出て、大学とステークホルダーの関係が近づく機会であり、いいと思う
  
- ・事前の質問は良いアイデアですが、選んだ質問については提出されたご本人にしてもらうような形は如何でしょうか。質問の細かいニュアンスはご本人が質問されることで、より活発な意見を導き出すことができるのではないかと考えます。
- ・もっと若い人の意見をききたいと思いました。
- ・冊子での近況報告もいいのですが、動画等での報告もしてほしい。学生の生の声も併せて聞きたい！
- ・事前にアンケートを取った質問に対する回答を文書にした資料を会場でいただくとありがたいです。
- ・大学の評議員会や理事会のような会に感じた。
- ・金沢市との関係連携からも協議会に参加を求め意見交換をすべきではないか
- ・事前意見への回答について当日は一部のみの回答でしたし、口頭のみで十分とは言えなかったと思いますが、後日全て公開してはいかがですか。(質問者の方に了承を頂いてですが)わざわざ意見としては出さなくても、同じようなことを思っているステークホルダーはいるのでないでしょうか。
- ・昨年度の報告も大切ですが、将来のビジョンをもっとしっかり示せばよかったのではないのでしょうか。質問への回答として都度話すという感じで学外の方には分かりづらかったかもしれません。
- ・外部施設ではなくキャンパスでの開催は良かったと思います。
- ・今回のようにキャンパス内で行うのは、いろんな面で良いことと思いました。
- ・仕方ないことかもしれませんが、前に出ているしゃる役員の中に女性が一人もいないことが気になりました。女性の地位向上が叫ばれて久しい世の中ですので、報道機関の出席もありますし、女性の出席も考えてみるべきではないでしょうか。

## 【11】金沢大学に対する主な意見

- ・大学のステータスを上げるべく改革を進めて頂きたい。但し、地元の高学力の高校生が目指す大学にしていきたいと思います。
- ・SGU やナノ研究所などの魅力を大いに発信していただければと思います。
- ・地域に愛される大学ならば、県内高校生の合格率が 32%程では低いのではないのでしょうか？医学類以外の学域・学類でも、地域枠は考えられないのでしょうか？
- ・理工 3 学類一括入試をさらに理工学域全体に拡大し、理系一括入試と合流させてはどうか。
- ・エッジの効いたスマートな学生を育成したいとの学長の決意表明があったが、実直で、心優しい学生をきちんと育てることも忘れないでほしい。良心のある人材を出してほしい。

- ・学生の教育環境を確保し「美しいキャンパス」にするため、石川県、金沢市や地域住民、CSR企業などとの地域連携に本腰を入れて欲しい。
- ・Web サイトでの活動の紹介を積極的に行っておられると感じています。過去のニュース含め、体系的、時系列的に見せるような工夫があればさらに良くなるのではないのでしょうか。
- ・今後も、イノベーション改革を頑張ってください。
- ・学長さまのリーダーシップのもと、力強く進んでおり、嬉しく思われました。



発行・編集 金沢大学総務部  
〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5111